

# 職員室から・・・

2008, 10, 1

新潟青陵幼稚園 加藤 由美子

新潟小学校の5年生の皆さんが、青ばらの子どもたちと交流するために遊びに来てくれました。

小学生のほとんどが、卒園した子どもたちでした。一人ひとりの幼稚園にいた頃の姿が浮かんで来て……うふふ……5年生にもなると、こんなにたくましくなるのかと感激しました。

玄関できちんと挨拶をし、遊戯室では準備のために椅子を運んだり、必要なものを借りたり、てきぱきと準備を進めていく姿が見られました。

この日を迎えるまでには、幼稚園の子どもたちの様子を見にきたり、どんな遊びができるのか確かめたり、事前の話し合いもしっかりと行い、且つ、自分たちで考え、自分たちの力でやってきたようです。

まずはじめにフルーツバスケット！

丸く並んだ椅子に座った青ばらさんたちは、お兄さんお姉さんが来てくれた事が嬉しくて嬉しくて、気持ちが高まって、一人が足で床をトントンと踏み鳴らすと、みんなが合わせて一斉にドンドンドン……みんなの気持ちが一つになったみたいにドンドンドン……その音に、小学生はどうするかと思っていたら、マイクで一言「しずかにしてください」とすると、なんとそのひと声で一斉に足を止め、静かになった子どもたち、素晴らしい！

丸くなって座った子どもたちの真ん中には、果物を描いたカード、子どもたち一人ひとりには果物を描いたペンダントが配られました。小学生の皆さんとても時間をかけて用意して下さったようです。

鬼が、果物のカードを持って、果物の名前をいうと、その果物が描いてあるペンダントをさげた子どもたちが、移動して座る場所を変えるというルールイチゴのカードを持った子が「いちご～」といいました。イチゴのペンダントを下げた子どもたちが、たちあがって「わ～～い」といいながら中央にあつまりました。そこでにこにこして立っている子どもたち……！？小学生がアナウンス「違う場所に座ってください」とするとゆっくりと空いている席をさがして座って、にこにこ～鬼が替わって、別の果物のカードを持って名前をいきました。子どもたちはまたゆっくりと空いている席を探して座りました。くだもののカードを持っていた鬼役の子どもは、まだそのままカードを持って立っています……？？小学生が、鬼がそのままにいることに気がついて、別

の果物のカードを持ってもう一度と教えてくれて、次にはちゃんと鬼が交代できました。

このフルーツバスケットには、小学生が考えた特別ルールがありました。その一つが、鬼になると、小学生がインタビューするのでそれに答えること。

「名前を教えてください」「○○です。」「好きな食べ物は何ですか？」「○○です」とこんな風に……でも中には好きなものを言うのに考えすぎて困っていた子がいたのですが、すかさず小学生「カレーは好きですか？」と聞いてくれ「はい！」と言えました。ナイスフォロー！！

もう一つのルールは、座ったら隣の人と握手をすること小学生が「あくしゅをしてください」というと、パチパチパチパチ？？と一生懸命“はくしゅ”をする子どもたち……うふふ

このあと、“いろおに”もやって楽しんで、さて、「これで終わりになりました。」と小学生が挨拶し始めると、「ええ～～～～！！」「もっと、やりたい～～」「もう一回いろおにしよう！」と子どもたち、その声にも左右されず小学生は「終わります。気を付け！礼！」と計画通りにすすめようとする……青ばらの子どもたち、「もっとやりた～い」小学生はなにやら相談して「じゃあ、いろおにをして、楽しかったことを話してくれる人はいますか？」と聞いて、手をあげた子どもたちをステージにあげてくれました。そして一人ひとりに「いろ鬼のどんなところが楽しかったですか？」と聞いてくれました。(小学生、臨機応変にできますね～！)

子どもたちはつぎつぎと「逃げるところが楽しかった」「いろを探すのが楽しかった」「色をさがすのは俺には簡単だったから楽しかった」……etc そして最後の二人の言葉「色鬼が楽しかった」「野球が楽しかった！」？？？と締め言葉(大笑い)

そして、「ほんとにこれでもう終わりです。気を付け！礼！」と終了、後片付けもてきぱきとやり終えて、子どもたちに見送られて帰っていきました。私たちは、青ばらの子どもたちの反応が面白くて大笑い！！あ～あおもしろかった。

そうそう、この会を見ていて感心したのですが、子どもたちは小学生の話を静かに聞いていて、子どもたちの聞く姿勢ができていたことがとても嬉しかったのです。保育者は普段、大きな声をだしたりしませんので、子どもたちは静かにしなければ聞こえないことをよく知っているのですね。人の話を聞こうと“耳を傾ける”ことができる子どもたちなのです。

卒園生の成長も、青ばらの子どもたちの姿も、嬉しくて、面白くて、楽しい、ひと時でした。